

まちづくり委員会 基本方針

まちづくり室 まちづくり委員会
委員長 蒲原 伸矢

昨今、新型コロナウイルス感染症により引き続き大きな影響を受け、私たち一般社団法人佐賀青年会議所の活動が縮小や自粛という状況に見舞われております。人が集まり交流する事が困難だった中、今までと違う社会変革型の事業で地域に活力を与え未来を明るくし、安心して暮らし続けることができるまちづくり運動を行なっていく必要があります。

まずは、より良い課題の解決方法を模索するために、地域団体の方と話し合いの場を設け情報の共有を行なうことで、地域の課題を明確にして解決に向けた運動を行なってまいります。そして、佐賀の地域に住み暮らす人と人を結びつける運動を行なうために、行政や各種地域団体に働きかけを行なうことで、地域活性化の架け橋となり持続可能な地域をつくってまいります。さらに、佐賀の地域交流に結びつけるために、環境の整備を行ないながらその中で子どもたちや高齢者とのコミュニケーションを図り、次世代の交流へとつなげてまいります。また、市民一人ひとりの地域への愛を深め継続的にまちづくりに向き合うきっかけとなるために、まちの魅力を活かしつつ新たな価値を産み出し、未来に向けて育み活性化する機会を創出します。そして、花火大会では大人から子どもたちまでが未来への明るい希望と元気をあたえ今後の地域の活性化を図っていくために、安全対策をしっかりと行ないながら企画・運営を行ない、佐賀に住み暮らす人たちが思い出に残る感動的な花火大会をつくってまいります。

佐賀青年会議所と行政、各種地域団体との関係をより一層結びつけ佐賀に住み暮らす地域の方がたと共に感動を分かち合い、佐賀に貢献できるまちづくり事業を続けていき「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、「銀鱗躍動」のように地域で勢いよく輝き続ける団体を目指します。

[事業計画]

1. 地域運動（通年）
2. 花火大会の企画・運営（8月）
3. 京都会議参加者への支援（1月）
4. 河川清掃（4月）
5. 例会企画・運営（4月・7月）
6. 全国大会（大分）参加者への支援（10月）
7. 会員拡大 拡大目標 委員会8名（全体40名）